

令和3年 年頭のごあいさつ

高萩市長 大部 勝規

明けましておめでとうございます。

皆様におかれましては、令和3年の清々しい新春をお健やかに迎えのことと心からお慶び申し上げます。日頃から市政へのあたたかいご支援とご協力を賜っておりますことに深く感謝申し上げます。

昨年は、新型コロナウイルス感染症の世界的な流行により、かつて経験したことのない規模で社会経済や人々の生活に影響が及び、生活様式の変容や働き方等が改めて問われた一年でありました。

本市におきましては、感染症対策として医療支援・生活支援・経済支援等のさまざまな施策を行ってまいりました。新型コロナウイルス感染症の収束がまだ見えない中、今後これまでも同様に市民の皆様の健康と生活を守ることを第一とし、引き続き感染予防と経済支援に取り組んでまいります。

人口減少・少子高齢化が進む一方で、情報化に代表される科学技術が急速に進展するなど、私たちを取り巻く社会環境は大きく変化しております。今年4

月に改訂をむかえ本市の指針となる第6次高萩市総合計画では、私たちが目指す将来都市像を「地域力が笑顔を育むまち 高萩」といたしました。この地に関わる全ての人々が豊かさを実感できる持続可能な地域づくりを、市民の皆様とともに進めてまいりたいと考えております。

新型コロナウイルス感染拡大は子どもたちや学校教育へも大きな影響を及ぼしました。子どもたちの学びを保証するため、児童生徒一人ひとりがタブレット端末を活用できるICT教育環境を整備し、新しい時代に即した能力の育成や、ICT技術を活用した学校ならではの学び合い、社会とつながる協働的な学びの実現を目指してまいります。

また、大きな社会課題の一つである公共交通の確保対策とし

て、人工知能（AI）技術を活用した路線バス運行の新たなシステムである「ダイナミックルーティング（DR）システム」の実証実験を行います。このシステムは仮想バス停の設定により、現在に比べより多くの場所で乗降でき、また、乗り換えなしで目的地に到着することを可能とするものです。実証実験後は効率的で利便性の高い移動手段として市民の皆様にご利用いただけるものと考えております。

国際的に関心が高まっている地球温暖化対策につきましては、本市が加盟している「廃棄物と環境を考える協議会」において、2050年までに二酸化炭素排出量の実質ゼロを目指す「ゼロカーボンシティ宣言」を昨年7月28日に共同表明いたしました。現在策定を進めております第2

次高萩市環境基本計画に基づき、地球的規模の環境保全に向けた取り組みを行ってまいります。

市長に就任して3年間、私は「誘致事業」「交流事業」「支援事業」の3つの政策を柱として、各施策を推進してまいりました。4年目となる本年も私の基本理念であります「市民が主役の市政」「元気で活力ある高萩市」をさらに前進させるため、職員とともに誠心誠意取り組んでまいりますので、皆様の一層のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、今年一年が皆様にとりまして幸多い素晴らしい年となりますようご祈念申し上げます。年頭のご挨拶とさせていただきます。

